

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2019～2020年度クラブ目標

『共に手をつなごう
ロータリーのもとで』

会長 中目公英
幹事 兼子聡



ロータリーは
世界をつなぐ

2019～2020年度国際ロータリーテーマ

第1596回例会

令和元年 8月29日 (18:30～19:30)

○ソング

- 奉仕の理想

○スマイルBOX

- 中目公英会長 (ビルド商事(株)の梅宮雄一郎さん、卓話をありがとうございます。近い将来、私たちのお仲間になっていただけることを楽しみにしております。)
- 永野文雄会員 (ゲストの梅宮雄一郎様ようこそ。お話しありがとうございました。プログラムの会員増強委員会の皆さんお世話になります。)
- 宮本多可夫会員 (今日は、ビルド商事(株)常務梅宮雄一郎様、卓話ありがとうございました。)
- 堀田一彦会員 (梅宮雄一郎君、卓話ありがとうございます。入会よろしくね。)
- 金田昇会員 (CKB野球大会は大盛会でした。梅宮様ようこそ、ロータリーの例会を楽しまれたでしょうか。)
- 青木大会員 (久しぶりにバーディーを取ったのでスマイルします。)
- 石部辰雄会員 (職業奉仕につき、早退させて戴きます。)

▼中目・兼子年度第1回ゴルフコンペ 9月1日(日)

コンペ会場：西那須野カントリー倶楽部

- 優勝：永野文雄 第6位：齋藤孝弘 第11位：堀田一彦
 準優勝：運天直人 第7位：前原俊治 第12位：鈴木孝幸
 第3位：兼子聡 第8位：須藤正樹 第13位：居川孝男
 第4位：青木大 第9位：佐藤幸彦
 第5位：成井正之 第10位：富永章

■公式メイクアップ者

- 8月23日 分区分行事：中目公英、堀田一彦
- 8月24日 地区行事：中目公英
- 8月24日 CKB：
 - 中目公英、青木大、池田浩章、大竹憂子、金田昇、熊澤直紀、小林義勝、三瓶徹、島田修一、高島裕、鶴丸彰紀、永野文雄、成井正之、鳴島三夫、横田俊郎、藤田龍文、堀田一彦、前原俊治、松永紀男、村上堅二、山口治、吉田充、吉野敬之、渡部勝也
- 8月25日 CKB：
 - 中目公英、兼子聡、大竹憂子、島田修一、松永紀男、村上堅二、吉野敬之、渡部勝也

▶第1596回例会出席状況 (R元年8月29日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	44名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	58名
Ⓒ ①の出席者数	23名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	2名
Ⓕ ②の出席者数	7名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	32名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	51
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	62.75%

▶例会日：第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間



中目公英会長

皆さまこんばんは。先週末の8月24、25日の土曜日曜、青少年奉仕委員会の担当でCKB、チャレンジケンナンベースボール中学校野球大会が晴天の下、盛会に開かれました。後ほど村上青少年奉仕委員会委員長さんより報告があらうかと思いますが、皆さん方のご協力をいただき大変賑やかな楽しい大会になりました。皆さん方のご協力誠にありがとうございました。それから次に今日の例会にご出席いただいているお客様のほうをご紹介させていただきます。ビルド商事株式会社常務取締役梅宮雄一郎さんです。梅宮様には後ほど卓話をしていただくことになっております。この8月は会員増強月間であります。その高島会員増強委員長さんのほうから我が白河西ロータリークラブのメンバーになっていただける一番近い方を卓話の講師としてお迎えしたから、皆さん優しく迎えてもらいたいというふうな話を私の会長のほうに承っておりますから、卓話を皆さんニコニコしながら聞いていただければと思っております。会員増強、まず一番は会員の退会の防止。現在の会員の方々がロータリーに入っていて本当に楽しいと思ってもらって退会をしないと。さらには一つ新しいメンバーを、今年のテーマにあります「ロータリーは世界をつなぐ」というふうなテーマのもと、新しいメンバーと新たな出会いのもと繋がっていききたいというふうなことであります。梅宮さん、近い将来こちらのほうに混ざっていただけるんじゃないかとウキウキしておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

さて、2530地区の芳賀今年度ガバナーのほうから私のほうにメールがまいりまして、8月の4、5、6の三日間、この2530地区に訪られましたマローニー国際ロータリー会長のお話をクラブで是非してくださいというふうなそのようなメールがありましたので、ここで8月5日、裏磐梯のレイクリゾートホテルのほうで歓迎晩餐会、我がクラブからは私と兼子幹事と二人で参加してきましたが、その時のマローニー会長のスピーチを皆さんにお伝えをするようにというふうなことでございますので、そのご挨拶を皆さんにご紹介させていただきます。

『～コンバンハ！(日本語で)本日、私とゲイがここ裏磐梯レイクリゾートホテルでの歓迎晩餐会に出席できましたことを大変うれしく思います。私たちは、2530地区、福島県で一日半を過ごしました。昨夜、私たちは吉川屋で上皇・上皇后様がお泊りになられたお部屋に滞在しました。今日も素敵なお部屋に滞在していますが、ここは上皇・上皇后様のご宿泊されたことはないと思います。

昨夜は、福島中央ロータリークラブの30周年記念特別例

会にロータリアンの皆様と参加させていただきました。今朝、福島市を出まして、相双地区を回らせていただきました。そして、すぐ海の近くにある浪江の請戸小学校を訪問してまいりました。今日はうれしいこともありました、心が痛むこともありました。もちろん、心が痛んだのは請戸小学校を訪問しその姿を見たことです。一階が津波で流され、二階の壁に残された時計は震災が起きた祖の時間を示し止まっております。震災前は、小学校の周りには2万3千人の方が住む住宅地であったそうですが、すべてが津波で流されなくなっております。

うれしいことは、皆様のテーブルにある号外の記事にありますように、浪江にじいりこども園で、子どもたちに会い、子どもたちの将来が明るいものであるように、また今後の復興と発展を祈り、皆さんと一緒に植樹してきたことです。私は、今日相双地区を視察させていただき、ロータリアンの皆様そして福島の皆様が、復興に対して粘り強く頑張られていることを感じました。

最後は、福島県知事を表敬訪問させていただき光栄に思いました。芳賀ガバナーではなく、内堀ガバナー、知事です(笑い)。知事との話の中でこの地区のロータリアンやロータリークラブが福島県に大きな影響を与えていることを理解いたしました。そして、福島県のロータリークラブが、そして日本中のロータリークラブが震災の復興に大きな貢献をなされたことを確認いたしました。

それから、昨夜起こった思い出に残る出来事がありました。私が福島中央RCでお祝いのスピーチをしているときであります。私のスピーチが大変パワフルでありましたので、大地がショックを受けたようで地震が起こったのであります(笑い)。それは、いつも起こることではありません(笑い)。

今年度、私は「ロータリーは世界をつなぐ」というテーマを掲げております。ここ数日この2530地区、福島の地を訪問して、「ロータリーは世界をつなぐ」という姿をたくさん見ることができました。昨夜の福島中央RCの30周年記念特別例会で、地区補助金奨学生として、オーストリアのウィーンで学んでいる吉田昂輝さんが、素晴らしいピアノの演奏をしてくれました。それから今日福島から相双へ移動するバスツアーで、私とゲイは、後ろの席でインターアクトメンバー、青少年交換留学生の学友の若者たちといろいろと語り合い交流することができました。彼らも世界とつながっています。そして福島ロータリークラブ、世界のロータリークラブの多くの方々がこの地の震災の復興支援に大きな力となっていたということが理解できました。

明日の午後、私たちは郡山へ移動し、東京に参ります。多くのロータリアンの方々、そしてご家族の皆様が私たちの訪問を思い出深いものにしてくださったことに感謝いたします。アロハガバナーである2530地区の芳賀裕ガバナー

そして絹子夫人、私を支えてくださった国際ロータリー理事の三木明様、国際ロータリー直前理事の石黒慶一様、そしてエイドを務めてくださった佐原元様、和佳子夫人に心より感謝いたします。そして、前のテーブルに座っておられる各地区からおいでのアロハガバナー、そしてご夫人皆様、地区の役員の皆様、ご出席くださりありがとうございました。私はこのように多くの皆様に囲まれておりますと、まるでロックスターのファンに囲まれているように感じます。(笑い)しかし、もし私に歌わせてみたら、そうではないことがわかってしまいます。(笑い)今夜ここにお集りの皆様、そして様々な行事に参加してくださった皆様、相双地区をバスで一緒に回ってくださった皆様に感謝いたします。心のこもったおもてなし、そしてロータリーの活動を継続して下さっている皆様に感謝いたします。最後に皆様には、「ロータリーは世界をつなぐ」というテーマを忘れないでいただきたいと思います。アリガトウゴザイマス！(日本語で)～』

これが国際ロータリー会長のマローニーさんが2530地区のロータリークラブ、ロータリアン一人一人に対して歓迎の晩餐会で述べられた挨拶でありました。マローニーさんの言葉にある通り「ロータリーは世界をつなぐ」ということを今年度中、皆さん方お一人お一人もロータリアンとして実際に行動に移していただければありがたいと、そういうお話しをしていただけたということでもあります。これを皆さんに国際ロータリー会長に代わってお伝えいたしまして、今日の私の会長の時間とさせていただきます。

■幹事報告

兼子聡幹事



- 国際ロータリー第2530地区：職業奉仕セミナー開催のご案内
- 米山梅吉記念館：賛助会ご入会のご案内
- 福島県クリーンふくしま運動推進協議会：令和元年度福島県クリーンふくしま運動推進協議会県南地域協議会定期総会の開催について

■バッジの授与

- ポールハリスフェロー

中目公英会長、兼子聡幹事、金田昇会員



■委員会報告

- 青少年奉仕委員会

村上堅二委員長



みなさんこんばんは。先日はCKB中学野球大会多くのメンバーの方参加をいただきまして、そして多大な広告をいただきまして本当にありがとうございました。子ども達も非常に楽しい大会で今回は365名の参加、父兄と合わせると約1000の方が今大会に参加させていただきました。メンバーのほうは延べ人数で42名の参加をいただいております。本当にありがとうございました。先生方からも非常に感謝をされまして、是非来年もまたやっていただきたいということでお話しがありました。本当に気持ちいい大会であったと思います。結果は、優勝が逗子開成Aです。準優勝が白河中央中学校。3位が西郷第一中学校と須釜泉合同チームが第3位となりました。本当に皆さんご協力いただきましてありがとうございました。また来年もよろしくお祈いします。

- ゴルフ愛好会

堀田一彦会員



みなさんこんばんは。ゴルフ愛好会からのお知らせとなります。今度の日曜日、9月1日ですが中目兼子年度第1回ゴルフコンペのほうを西那須野カントリークラブで、集合が9時、開会式が9時50分となっております。取り切り戦対象者が運天直人会員、永野文雄会員、齋藤孝弘会員、青木大会員、前原俊治会員となっております。また表彰式のほうが17時30分からアジアンのほうで行いますので、どうぞ参加のほうよろしくお祈いいたします。

- 野球愛好会

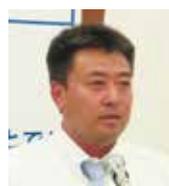
マネージャー 青木大会員



野球愛好会から全国大会に出場した記念の写真入りのボールがサンプルで届いておりますので、欲しい方がおりましたらお手をあげていただきたいと思います。あとで見てください。一個3200円ですので欲しい方は是非お祈いします。

- シスター委員会

青木大委員長



来週9月5日は米沢中央さんが白河西のほうにメイクアップに来ます。そして翌日9月6日にこちらから米沢中央のほうに向かいますので、参加できる方は今回覧している申込用紙のほうに、事前に送って返事をもらっている方は大丈夫なんです、新たに都合がついて行けるとい方は名前を書いていただきたいと思ひます。当日は10時に出発をして行きたいと思ひますの

で、参加される方にあとで集合場所をお伝えしたいというふうに思います。それと9月の26日に米沢中央との合同の移動例会があります。場所は本宮のビール園になっておりますので、こちらの返事もまだの方がいらっしゃいましたら返事をしていただきたいと思います。なお、奥さん同伴で出席ができますのでまだ誰も奥さん連れてこられる方いらっしゃいませんので是非とも連れてきていただきたいというふうに思います。参加人数ちょっと今のところ把握している限りですと20人ちょっとですので、もう少し参加できる方がいたら是非参加をお願いしたいと思います。

■本日のプログラム

会員増強委員会担当例会

○会員増強委員会

堀田一彦副委員長



会員増強委員会副委員長の堀田です。委員長到着しているんですが、まだ夕食食べているということで私のほうが紹介をさせていただきます。本日ビルド商事株式会社の常務取締役梅宮雄一郎君のほうにゲスト卓話をさせていただきます。梅宮君は自宅は泉崎なんですけど職場が西郷村ということで西郷村商工会青年部の副会長を歴任されて、現在は白河法人会青年部の副部長ということでかなりロータリーに近い団体に所属していらっしゃいますので是非今年度中には会員のほうになっていただけるんじゃないかなというふうに思っております。趣味がマラソン、スポーツ観戦ですかね。梅宮君、よろしく願いいたします。

○ビルド商事株式会社 常務取締役 梅宮雄一郎様



ただいまご紹介にあずかりましたビルド商事の梅宮と申します。本日はよろしく願いいたします。皆さまのほうに私共のビルド商事株式会社のパンフレットのほうお配りさせていただきました。ビルド商事株式会社がどんな会社かということで簡単にご紹介のほうさせていただきますと、一言で言いますとゴミを扱っている会社になります。さらに詳しい話をしていくと一般のスーパーから出るゴミとかそういうものも回収させていただいてクリーンセンターに運ぶとか、あとは産業廃棄物、例えば建設現場であるとか工場から出る廃棄物のほうを処分させていただいたり、私共の会社でも主に建築系の廃棄物であるとかそういうものを中間処理をさせていただいておりますので、そういう中間処理といったこともやっております。創業に関しましては昭和53年、今から41年前に現在社長であります私の父でもございます梅宮吉男のほうがこちら創業のほうさせていただきました、会社法人としては昭和56年4月にですね法人化ということになりまして、今に至っているような状況でございます。私共

中間処理工場としては平成17年の7月から福島県の許可をいただきまして今14年間ですか中間処理のほうをやっておりますといった状況でございます。皆さんもちろん経験されているかと思いますが、平成23年の3月11日に起きた東日本大震災によりまして未曾有の廃棄物がお客様のほうからどんどん出てきたといった形にはなったんですけども、8年経った今でも出てくる廃棄物が放射能に影響されているといったこともまだございます。やはり東日本大震災になってしまった当初は福島から持ってくる廃棄物は受けませんといったそういう風評被害的なものもあったことも事実ではあります。放射能に対することがだんだん理解され始めてきた上で、通常通り廃棄物が処理されていたという状況下でございました。震災から8年経ってうちのほうも色々と今後廃棄物に関してパンフレットの中にも入っておるんですけども、食用油、揚げ終わった食用油、例えばセブンイレブンからとかそういうところから出てくるような植物油のほうを、メタノールと化成カリウムを混ぜて化学反応を起こしてバイオディーゼル燃料、軽油の代替りの燃料を作るといったプラン等を中間処理を始めた平成17年当初から運営のほうをさせていただいております。我が社で業務に使う車が43台今あるんですけども、そちらのほしい32台くらいは私共のほうで生成したバイオディーゼル燃料100%で車のほうを走らせております。実際今の新しい車にも使えるのかといったら問題はあるんですけども、正直言いますと平成16年より前の型の車じゃないと、その平成16年、17年あたりというのが東京の当時の石原都知事が空気が汚いとかそのディーゼル規制みたいなものを言った時期がありまして、エンジンの規制が変わるといった境目が平成16年の後々くらいに変わってくるといったことがございましたので、そこからあの車に関しては私共で生成するバイオディーゼル燃料が使えないといった、要するに噴射口がエンジンに軽油を噴射させて燃やすといった構造になっていると思うんですけど、そちらの私共の作った燃料では粘り気が多すぎて合わないといったことがございますので、平成16年より前の車で今は運用させていただいているといった状況になります。その先新しいことに挑戦したいとお話しさせていただいたところなんですけども、実はその私共の生成した燃料をですねさらに蒸留する、熱を加えるだけだと思ってしまうんですけども、蒸留という工程を加えると新型の今発売されているようなエンジンにも対応できるといった燃料ができるといったプランも少なからず販売されているみたいですので、それもちょっと今挑戦してみようかなといった状況下でございます。私共も今お陰様で多種多様のお客様からお引き合いをいただきまして今日こちらにも色々いらっしゃる先輩方ですね、そういう皆様にお世話になって今に至っているような状況下でございます。今後とも私共の会社、廃棄物であれば色々ご相談いただければ、こんな物捨てた

いんだけどとかいったことも、例えば一般家庭から出るような粗大ゴミとかそういうものも一応法律が色々あることはあるんですけども、今結構問題になっているのが遺品整理関係ですね、こちらのほうから出る廃棄物というものも結構ごちゃごちゃになってたりだとかそれこそ見に行ったら例えば不徳な業者に関しては10万円で出来まますと言ったものが実際やってみたら三倍くらいありましたので30万円請求しますとかそういうこともあるみたいですね。でもうちの場合はそれをきちんと見た上でだいたいこのくらいかかりますよということは出来ますので、その辺ご相談いただければ何なりと真摯に対応させていただきます。

この辺で商売の話は終わりとさせていただいて、先ほど堀田さんのほうからご紹介あった通り一応私の趣味的な話をさせていただきたいと思うんですけど、さっきマラソンとかスポーツ観戦といったお話をいただきました。今は趣味的な形でマラソン、フルマラソンをやっていることはやっているんですけども、正直言いますと二年前、2017年の東京マラソンに倍率が抽選なんですけども、12倍くらいなので12倍じゃ当たる訳なかならうと思ってそれで申し込みをしたっていうのがそもそも最初だったんですね。でもある日突然、当選しましたというメールが来ましてどうしようと、本当にその私の友人でもフルマラソンで三時間切るような友達がいるのでそいつは外れて、何ももう遊びでしかやらない私が当たっちゃったといったような状況下でしたので、ガチでやるやつにそれを言っちゃ失礼だろうと思ったのが正直な気持ちで、東京マラソン走り終わるまで正直内緒にしました。このことに関しては、実際出るか出ないかも二週間前くらいまで思い悩んで、それで一応四年前くらいまではハーフマラソンまでは走った経験はありましたので、実際その結論的なものとしては、とりあえず走ってみて完走できなかったらもう自分の中の黒歴史にしまおうと、そのくらいの気持ちで正直走ったというのが実際でした。それでも実際走ってみて、だいたい新宿の都庁前が東京マラソンってスタートなんですけども、都庁前から走り出して四谷とかあの辺、例えば専修大学であるとか中央大学とかあの校舎のビルのある辺りをずっと通って行って、浅草の浅草寺とかその前を走ってスカイツリーが見えるとか、そんな形でほぼ観光的な感覚で走ってたんですけども、だいたいその例の事件がありました深川の富岡八幡宮のあたりをですね、一応あそこがハーフのあたりになりますので、そこを越えた時点で未だに鮮明に覚えているんですけどもそこを越えた時点で、この先は未知数だなと。走ってみてどうなるもんだらうということで、とりあえず行ける所まで行ってみようと思ったところが正直なところでした。でも走り進めていくうちに本当にもう経験のないことでしたので、正直言

いますと本当はやっちゃいけないんですけども、結局友達に黙っていたくらいでするので何の練習もせずに挑んだというのが正直でした。一応何の練習もせずに挑んで、それで30キロ過ぎあたりで足の裏がめっちゃめっちゃ痛くて、それでサロンパスみたいなものは持ち歩いていたのでそれかけながら走って40キロ過ぎは丸の内のあたりになるんですけども、残り1キロで石畳というのはあれは本当に危険ですね、ガタガタの道なんです。東京駅前、皇居の前のあたりがゴールという形になるんですけども、一応7時間の制限でその時は制限の10分前に完走することができました。その後神戸マラソンも一応だいたい6時間ちょい切るくらいで一応完走ができて、その後は去年には金澤マラソン、神戸マラソン、大阪マラソンと去年はたまたま神戸マラソンと大阪マラソンが一週違いでしたので、一応どちらも当たっちゃった関係で二週連続でフルマラソン走ったというバカなことも経験させていただきました。今一応ベストタイムっていうものを持っているとすれば、今年2月に熊本城マラソンってのがあったんですけども、それも抽選で当たってしまって、同じ日に京都マラソンがあるんですけどもそちらは外れてしまったんですね。それで熊本が当たってしまったんで、どうしようと悩んだ末に熊本行って走って、その時は一応5時間22分で完走することができました。当時からすれば、1時間半も短縮はできているといった状況にはあるんですけども。そのお陰ではないんですけども、一応今後も二年連続で今年は金澤マラソン走らせていただいて、たまたまご紹介あったようにですね、地区大会が10月27日とご案内あったと思うんですけどもその10月27日が金澤マラソンの当日でございます。その後三週おきくらいで神戸マラソンも三年連続で一応出ると、当たって三年連続で参加させていただきます。あとは悪い友達の誘いで12月9日、日曜日にさいたま国際マラソンに出るという羽目になってしまいましたので、今年に関しては三大会参加させていただくといった方向で、先月から炭水化物断ちをしているつもりなんですけども、今日出たお弁当とても美味しかったのでご飯も頂いちゃいました。そこはご愛嬌みたいなおところですね、自分でもマラソンやってみてこんな体ですけれども出来るんだっていう達成感が得られたというところに関してはとても大きかったなといったところでございます。本来であればですね、私中学校の時は部活は野球やってまして、そちらにいらっしゃる村上さんには大変中学校時代にはお世話になったということがありまして、同級生には今プロ野球のオリックスバファローズで一軍のバッテリーコーチをしております、鈴木郁洋という者がおるんですけども、私同級生でございますので、中学校は白河二中でしたのでその野球部に昔はおったという同級生も一応プロ野球で、最初は東北の仙台育英高校から東北福祉大に行って、そこ

から中日ドラゴンズに入団してから色々あって大阪近鉄バファローズ、それで例の楽天の分配ドラフトという歴史を経て、オリックスのほうに分配されて今からだいたい7年前くらい前に引退という形でそのまま二軍のバッテリーコーチとか一軍のバッテリーコーチをしているという状況下でございます。来年もコーチでいるかは私には全然分かりませんが、今月二週間くらい前になるんですけども、京セラドームで千葉ロッテ戦を観戦させていただいたところでございます。それで一応夏休みのものを取って、京セラドーム、大阪ですけども行って見させていただいたといった状況下でございます。私、先ほどもスポーツ観戦というお話しちょっと出たところなんですけども、結構旅行的なものとかそもそも大好きなので、色々例えばマラソンで先ほど熊本城とかそういう所を転々と回ってみて、それが趣味が高じるってわけではないんですけども、プロ野球十二球団の主用である球場、ホーム球場すべて札幌ドームから福岡ヤフオクドームまですべて行かせていただきました。この前も夏休み取らせていただいて、京セラドーム行く前は福岡ヤフオクドームで野球をあの時埼玉西武でしたけれども、日本を代表する千賀というピッチャーがいるんですけども、二回に九失点も一人で取られたという歴史的な試合を私この目で見てしまいました。でもこのピッチャー、おばけフォークと言われるあんなピッチャーでも一回に九点も取られるんだと、あれはちょっと衝撃的でしたね、正直言いますと。そういうのも見てきたり、次の日にそれこそ新幹線で移動して京セラドームに行って、たまたま神戸マラソンの時に知り合ったマラソンの仲間の方もご招待してその方と一緒に京セラドームに見に行って、さらにそこで余談的なことにはなってしまうんですが、驚いたことが実は一つございまして、例えば東京ドームとか明治神宮野球場とかどこでもいいんですけど、中で買う売り子さんから買うビールって結構一杯700円とかって高いんですよね。例えば食べ物とかにしても最低でも500円以上するとか、そういうもの結構多いんですけども。京セラドームの脇にイオンモールがありまして、そこにちらっと入った時にいかにもこれ野球観戦する人だろうって人達が結構食べ物買い込んでるっていう姿には衝撃的でした。本当にもうお酒とかカンとかそういう物って野球観戦には持ち込めないで、ルールで750mlのペットボトルなら持ち込んでオッケーですっていうのが今年からルール化されたみたいで、それがもうイオンのお店の中で普通に売ってるんですね。それでそういうのを買い込んで球場の中で観戦してっていうのは、私自身は結局野球観戦する時には売り子さんからビールを買って売りさんとの会話を楽しんでとかそんな変な趣味ではないんですけども、あるんですけども、イオンで買い込んで球場で野球見

てるっていう経験が初めてだったっていうのがありましたので、ちょっと衝撃的だったなということも経験させていただきました。野球の話も結構好きではあるんですけども、さらに野球以外にも実はバスケットボール。今Bリーグ、福島にも地元にも福島ファイヤーボンズというチームがございますけれども、Jリーグのやり方でサッカーでJ1、J2ってあるように、BリーグもB1、B2ってというのが正直でございます。福島ファイヤーボンズに関しましては、B2でサッカーでいうとJ2みたいところがあるんですけども、B2リーグの東中西ってありますので、東地区に属すると、今年はそういう組合せが発表されておるようでございます。実際のところバスケットボールって私そんなに、今日本代表も試合しているとか色々報道ではなされていると思うんですけども、あまりそういうのって関心なかったんですよ。そもそも野球が好きだって先ほどもお話しさせていただきましたけれども、バスケットボールに関しましては実はいここがございまして、鳥根にバスケットボールチームがありまして、鳥根スサノオマジックっていう今年B1リーグの西地区に属するチームとなるんですけど、鳥根スサノオマジックというところで四年前に一選手としてお世話になったという経緯がございまして、そこで球団の鳥根スサノオマジックの球団の元の会長さんが同業者の社長をされていまして、十年来のお付き合いがあります。そこでいとこの試合を見に行くのにその方通じて見させていただいたということが縁で、地元は福島なのに鳥根を未だに応援しているということでございます。でも今年に関しましては、福島ファイヤーボンズのユニフォームを一応買わせてはいただいておりますので、それを着て神戸マラソンは走らせていただこうかなと、そこで福島の宣伝をしてこようじゃないですけど、去年までは実際にところが選手の時に付けていたレプリカの鳥根のユニフォームを付けて、神戸マラソンとか東京マラソンとか走ってはきたんですけども、今年からは地元が福島ということもありますのでそういう意味も含めて地元の宣伝も踏まえながら、福島ファイヤーボンズのユニフォームを着て金澤マラソンとか神戸マラソンとか走ってみたいなといったことも考えておる次第でございます。以上でとりとめの話になって大変申し訳ないところでございまして、私梅宮雄一郎がこんな男であるといったところで、しょうもない話をして大変申し訳なかったところでございまして、皆さんの貴重な時間をいただいております。今日は私のこんなことで卓話という形になるんですけども、お話しする時間をいただきまして、誠にありがとうございます。これにて私の話は終わりとさせていただきます。ご清聴いただき誠にありがとうございました。